

平成30年度市政懇談会の主な質疑内容（大島地区）

<p>ウェルカム・ターミナル工事が遅れた原因は。</p>	<p>商工課副参事： 県の防潮堤工事、県道工事との情報共有の不足などにより遅れました。現在の予定から遅れないよう進めていきます。</p>
<p>亀山へのシャトルバスは、出発をウェルカム・ターミナルにすると便利だと思うが、なぜ田尻からなのか。</p>	<p>観光課長： ウェルカム・ターミナル造成前の対応として田尻臨時駐車場を検討しています。造成後についても柔軟に検討していきます。</p>
<p>市内への路線バス賃は、船賃より高くては意味が無い。410円を維持して欲しい。</p>	<p>震災復興・企画課長： 今は距離から計算したものを参考としてお知らせしました。もう少し研究し、検討します。</p>
<p>ウェルカム・ターミナルの造成工事は、あと3か月で終わるのか。</p>	<p>商工課副参事： 現在の工程表は三事業調整会議でも裏付けされたものであり、来年2月には造成工事が完成する予定です。 市長： 県から進捗率は32%と聞いています。裏付けについてもお知らせします。</p>
<p>バスで市立病院まで61分かかると聞きトイレが心配だ。途中、鹿折などでトイレ休憩を入れてもらえないか。</p>	<p>震災復興・企画課長： 貴重な意見として検討していきます。</p>
<p>路線バス以外にオンデマンドや乗り合いタクシー、住民タクシーなど、柔軟に使う人のニーズに答えてほしい。</p>	<p>震災復興・企画課長： オンデマンドバスなどの選択肢もありますが、開通時にはとりあえず路線バスとして考えられるダイヤ、路線を設定し、乗車状況なども見ていきます。通院、通学だけではなく、観光客の接続なども検討していきたい。 市長： 高齢化率が上がっている中で、様々なトライと修正が必要。みなさんと相談して進めていきます。</p>
<p>市道整備計画について、優先度を作成することだが、優先度について大島は市内で1番であると認識している。優先順位を前倒ししてでも早急に工事をしていただきたい。龍</p>	<p>土木課長： 龍舞崎への道路は一部、大型バス等のすれ違いはきつい場所になっています。現段階では擁壁等があることから早急な対応は難しい状況です。徐行やすれ違いの注意喚起を促します。市道整備計画の優先度</p>

<p>舞崎への道路はすれ違いが困難な場所が多い。大島架橋開通後の対策はどのように考えているのか。</p>	<p>については、今後、検討委員会の中で様々な必要性について項目を設定し、地元の方々への説明も考えています。</p> <p>市長： 市道整備計画は震災前に発表予定でしたが、一旦棚上げして現在は、震災復旧と緊急度の高いところを優先して行っています。平成 32 年度までの震災復興が終わった後に順番通り実施できる計画を今から作り始めたところであり、通学路や幅員が狭隘である等の条件により点数を付けますが、地域が片寄ったりしないよう工夫しながら、第三者も入った会議体で決めてもらいます。</p>
<p>震災前、架橋を前提とした大島振興推進会議で、道路を含めて中間答申をしているが、7 年間何もしていないのではないか。</p>	<p>震災復興・企画課長： 課題は新しいものや違ったものも出てきますので、中間報告としました。新しい課題が出れば、速やかに対応していきます。担当各部署で継続的に対応していきます。</p>
<p>亀山への道路は橋が架かると大変な交通量の変化が起こる。市道整備計画策定後に予算がついても平成 33 年度からというのが一般的。今でさえイベント等があるとすれ違うのも大変。大島地区は特別であることを理解いただき、狭隘箇所の拡幅改良を進めていただきたい。</p>	<p>建設部長： 現在、舗装を進めています。危険な箇所や交通量の多いところについては局所的に対応することも考えます。一律、全線改良拡幅は難しいことをご理解願います。</p> <p>市長： 市道整備計画と大島の道路整備を一律同じものと捉えるべきではないというお話しを複数いただきました。大島における道路・交通環境の激変は一律な評価基準を超えた部分があると認識しています。出来るところ出来ないところについて技術的・地形的な部分も含め検討していきます。</p>
<p>十八鳴浜の駐車場は途中から砂利道になっていて、観光客は引き返してしまう。観光客の視点に立った看板を設置してほしい。</p>	<p>観光課長： 年度内に看板など整備を進めます。</p>
<p>ウェルカム・ターミナルの遅れや患者を大切にしない市立病院の看護師など、市職員の意識改革をしてほしい。市議会議員も市民代表としての責任を果たしてほしい。</p>	<p>市長： 市職員の姿勢は、スキル以上に一番大切なことと、意識していきます。</p>

<p>大島の観光と水産が、気仙沼市の目玉だと思うが、気仙沼市における大島の立ち位置はどこか。</p>	<p>市長： 大島は国立公園や海中公園などとして、観光における自然というコンテンツがあります。市としても大事にしていきたい。IC名も「大島」と付けたい。観光ソフトは、市だけではなく観光推進機構にお願いしています。その地区部会で検討していただいています。ハードは市で決め、ソフトとハードを生かしていきたい。</p>
<p>田中浜、子どもたちの体験学習もできるので、バスなどの駐車場の確保を。</p>	<p>観光課長： 県の防災林事業とあわせて整備を検討しています。</p>
<p>小田の浜、今年、駐車場が足りなかったのを増やしてほしい。</p>	<p>観光課長： 70台で整備を進めています。周辺の民間駐車場の活用など検討していきます。</p>
<p>潮風トレイルは亀山リフトの跡地利用や道路拡幅を検討してほしい。</p>	<p>観光課長： 観光推進機構の地区戦略部会において検討していきます。</p>
<p>大島大橋の供用開始日はいつなのか。観光協会に個人や団体から多数問い合わせが来ている。「来年の春」と答えているが、宿泊の機会を逃していると思う。県に対して一日も早く公表するよう働きかけをお願いします。</p>	<p>建設部長： 市に対してもまだ示されていません。旅館や活動に影響があり、市の様々な関連事業もあるので、一日も早く公表になるよう働きかけていきます。</p>
<p>架橋に伴うゴミ問題を心配している。今年、観光客が多かったがゴミを持ち帰らず、地区集積所に置かれた。結局、衛生組合員で処分したが対策をお願いしたい。あわせて、小田の浜に打ち上げられる流木などのゴミは、定期的に観光協会ですり集めているが、処分できていない。</p>	<p>市長： お金と手間がかかることなので、早急に調査し対応していきます。</p>